



Hikosangawa

川と暮らす

土手沿いを進む人や車、視界には緑の河川敷が広がる。当たり前風景が、今日もまた目の前を流れていく…。

日々の営みの中で、わたしたちが川に接することのない日がない。でもあるだろうか。

「ない」と思ったあなた。では、住まいが川の一部分としたら？ どうだろう。台所や風呂、洗面所で使う水の大半は川からのもの。また、そこから流れ出る排水は、すべて彦山川へと流れ込んでいく。

百年で汚れた川を再生させるために、どれだけの年月が必要なのだろう。そのスタートもわたしたち一人ひとりの行動がなければ、時計の針は決して進まない。そのことに気づくために、まず、川に近づくことから始めてみたい。

写真／福智川を乱舞するゲンジボタル



P12



P20



P24

FUKUCHI

【広報ふくち】2006.7月号

表紙は福智川の源流となる上野峡で「ほうじょう温泉ふじ湯の里」のコンテストで選ばれた初代藤姫の白石由香さん(伊方)を撮影。奥の赤い橋は河鹿橋。



CONTENTS

背景／彦山川の朝、そよ風をうけて泳ぐアイガモ

特集 川と暮らす	3 - 13
■ 不納欠損についてのおわびと今後の徴収について	14 - 15
■ 同和問題啓発強調月間	16 - 17
■ 募集します／まちづくり委員・小中学校講師 etc...	18 - 19
■ 夏の施設／夏のイベント	20 - 21
■ 介護保険料の見直し	22 - 23
■ ズームインふくち	24 - 25
■ まちのかかりつけ／健康お悩み相談所／デイケア	26 - 27
■ ふくち玉手箱「ふくたま」／お誕生日おめでとう etc...	28 - 29
■ 情報ひろば・もっと！情報ひろば	30 - 33
■ 保健師だより／保健の掲示板 etc...	34 - 35
■ タウンミーティングのお知らせ／町長日誌	36

